1か

偶像時代

Ⅰ列 18:1〜15　あなたさまには、イゼベルが主の預言者たちを殺したとき、私のしたことが知らされていないのですか。私は主の預言者百人を五十人ずつほら穴に隠し、パンと水で彼らを養いました。今、あなたは『行って、エリヤがここにいると、あなたの主人に言え』と言われます。彼は私を殺すでしょう。」するとエリヤは言った。「私が仕えている万軍の主は生きておられます。必ず私は、きょう、彼の前に出ましょう。」（13〜15）

1. オバデヤは100人の預言者（弟子）を生かす重職者でした（Ⅰ列 18:1〜15）
   1）オバデヤはアハブ王の臣下でした
   2）オバデヤはエリヤの弟子でした
   3）オバデヤは100人の預言者（弟子）を隠して生かしました

2. エリヤの後に7000人の弟子が準備されていました（Ⅰ列 19:1〜21）
   1）エリヤは神様が与えられる力を受けました（Ⅰ列 19:1〜8）
   2）エリヤは神様のかすかな細い声を聞くようになりました（Ⅰ列 19:12）
   3）神様はエリヤに7,000の弟子を備えておられました（Ⅰ列 19:8）

3. エリシャはドタンの町運動をする弟子でした
   1）エリシャはエリヤに霊の２つの分け前を求めました（Ⅱ列 2:9〜11）
   2）エリシャがアラムの軍隊を見て恐れている、召使いの目を開いて、天の軍隊が見えるようにしました。（Ⅱ列 6:16）
   3）アラムの軍隊が二度と来ることができないようになりました（Ⅱ列 6:23）

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

02

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば

2か　エリヤ時代

Ⅰ列 17:1　ギルアデのティシュベの出のティシュベ人エリヤはアハブに言った。「私の仕えているイスラエルの神、主は生きておられる。私のことばによらなければ、ここ二、三年の間は露も雨も降らないであろう。」

1. 預言者エリヤがいました

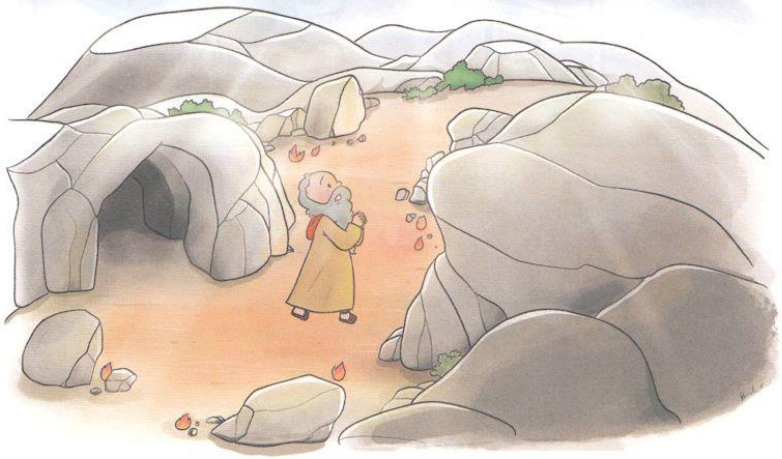
1) エリヤはギルアデのティシュベ人でした（Ⅰ列 17:1）
2) ナジル人であったエリヤは、神様からの使命をのがして、力が抜けてしまいました（Ⅰ列 19:13）
3) エリヤは、新約聖書のバプテスマのヨハネの予表としてきた人です（ルカ 1:17）
4) エリヤは、変貌の山に現れた人物です（マタ 19:1～7）
5) エリヤはいまも旧約の代表的な預言者として知られています

2. エリヤがアハブ王と霊的な戦いをすることになりました

1) 神様がエリヤを通して何年もの間、雨が降らないことを宣言されました（Ⅰ列 17:1～3）
2) エリヤはカルメル山で、バアルとアシェラの預言者たちとの霊的戦闘をしました（Ⅰ列 18:1～16～19）
3) 神様は自らエリヤを呼ばれ、ホレブ山で使命を与えられました（Ⅰ列 19:1～21）

3. エリヤに現れたしるしがあります

1) 神様はツァレファテのやもめを通してエリヤが飢えることのないようにされました（Ⅰ列 17:14～16）
2) 神様はエリヤを通して死んだやもめの息子を生かす奇跡を現わされました（Ⅰ列 17:17～24）
3) 神様はエリヤを通して雨が降らないところに雨を降らせるようにされました（Ⅰ列 18:41～45）
4) エリヤが神様に祈ったら、祭壇に火が下りてささげ物と祭壇を焼いてしまいました（Ⅰ列 18:24～38）



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

09

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] <子どもの祈りの手帳>
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば

アラム時代

アラム時代にようこそ！
みなさんは、エリヤとエリシャの話をどれくらい聞きましたか。
名前はよく聞くでしょう。８月にはエリヤとエリシャが活躍していた時代を見て、
これから、私たちがどのように生きるべきかについてお話しできたらうれしいです。

01. アハブ王の妻、王妃イゼベルについて見てみましょう！

1) イゼベルはシドン人の王エテバアルの娘です。（Ⅰ列 16:31）エテバアルには「バアルの人」という意味があります。
2) 北イスラエルのアハブ王と結婚したイゼベルは、北イスラエルにバアルの神をおがませました。首都サマリヤにバアルの神殿を建築して、祭壇を築きました。そしてアシェラ像を作って神様を怒らせました。（Ⅰ列 16:30～33）
3) 彼女は数多くの神様の預言者を殺しました。（Ⅰ列 18:4,13）
4) また、エリヤがバアルとアシェラの預言者850人に勝利したので、彼を殺そうとしました。（Ⅰ列 19:2）
5) 結局、イゼベルは窓から突き落とされてみじめな死を迎えました（Ⅱ列 9:32～33）

02. バアルとアシェラはどんな偶像でしたか

1) バアルは豊かさの神として知られていますが、その偶像に仕える人々は不健全な祭事を行い、生きている子どもをいけにえとしました。
2) アシェラは豊かさの神バアルの妻です。アシェラは子宝の神として知られ、木で作ったアシェラ像は子どもをたくさん産むためのお守りでした。
3) 聖書には、エリヤがバアルの預言者450人、アシェラの預言者400人と戦った場面に、彼らのいけにえを捧げる方法が記録されています。（Ⅰ列 18:28）
「彼らはますます大きな声で呼ばわり、彼らのならわしに従って、
剣や槍で血を流すまで自分たちの身を傷つけた。」
これは、生きている子どもをいけにえとするほかにも、自分自身のからだを捧げる儀式があったことを意味します。

03. オバデヤはどんなことをしたのでしょうか（Ⅰ列 18:1～15）

オバデヤは、悪いアハブ王の臣下でしたが、神様を恐れていた人でした。（Ⅰ列 18:3）彼は王妃イゼベルによって指名手配されて、殺されそうになった預言者100人を 50人ずつほら穴に隠して食べ物を与えました。（Ⅰ列 18:1～4）今で言うなら、困難にあっている牧師先生を助けたということです。

04. ツァレファテのやもめとシュネムの女がしたことはなんですか

1) ツァレファテ地域のやもめは日照りで飢え死ぬ寸前だったのですが、神様のみことばを信じて自分たちの最後の食材でパンを一つエリヤに作ってあげました。（Ⅰ列 17:15）
2) シュネム地域に住んでいたひとりの女性は、エリシャが通りかかるたびに食事をあげました。後には夫とともにエリシャと彼の弟子が留まることのできる部屋を作りました。（Ⅱ列 4:8～11）

04. エリヤとエリシャが作っていた学校がありました（預言者学校）

第二列王記2章1節から6節までを見れば、エリヤとエリシャがギルガル、ベテル、エリコ、ヨルダンなど行く先々で会う人たちがいました。それは予備預言者の学生たちでした。（預言者のともがら）今の言葉で言い換えるなら「伝道師先生、牧師になる準備をしている神学生」だと言えます。エリヤは、残った生涯を預言者のともがらを準備する働きに用いられ、そして天に上げられました。とても重要なことだったからです。

1) エリシャはヨルダンで 50人の預言者の弟子に会いました（Ⅱ列 2:7）
2) ギルガルでエリシャは預言者のともがらと団体生活をしました（Ⅱ列 4:38～41）
3) 預言者のともがらがとても多くなったので、ヨルダンに家を作ることにしました。（Ⅱ列 6:1～7）

私たちの生活に適用しよう！

1. 教会の教役者（牧師先生、副牧師先生、伝道師先生など）の名前を書いて、私がその方たちを助けるためにできることをひとつ計画してみましょう。

2. レムナント神学校（RTS、Remnant Theological Seminary）は、未来の伝道者を準備するところです。そのために祈る祈り文を書きましょう。

3か　エリシヤ時代

Ⅰ列 19:16　また、ニムシの子エフーに油をそそいで、イスラエルの王とせよ。また、アベル・メホラの出のシャファテの子エリシヤに油をそそいで、あなたに代わる預言者とせよ。

1. エリシヤは最も苦しい時代に召された弟子でした

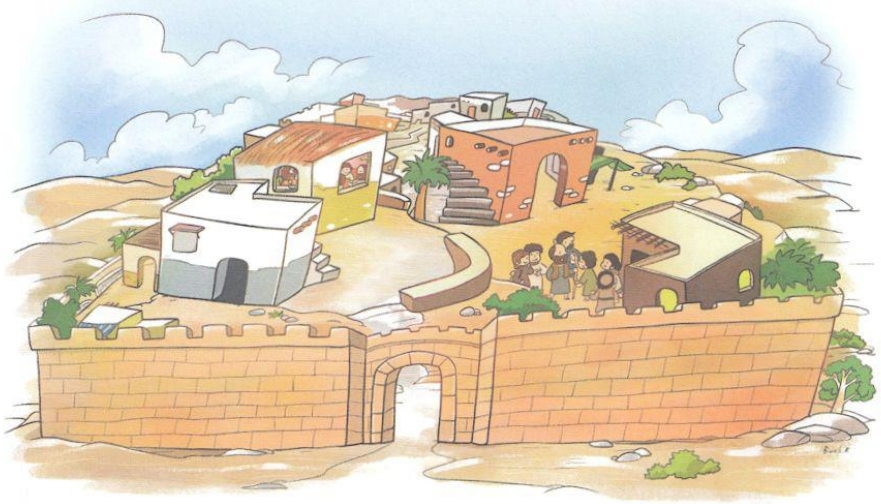
1）エリシヤはアベル・メホラの人でした（Ⅰ列 19:16）
2）エリシヤはエリヤの召しに従いました（Ⅰ列 19:19〜21）
3）エリシヤはエリヤが天に上げられることを見ました（Ⅱ列 2:1〜12）

2. エリシヤは最も重要な働きをした弟子でした

1）エリシヤは7千弟子を見つけるために霊の二つの分け前を求めました（Ⅱ列 2:9〜11）
2）エリシヤはドタンの町運動の主役になりました（Ⅱ列 6:8〜23）

3. エリシヤは人々に神様のみことばを伝えました

1）エリシヤはイスラエルがモアブとの戦争に勝利することを預言しました（Ⅱ列 3:11〜27）
2）エリシヤはシュネムの女の死んだ息子を生かしました（Ⅱ列 4:8〜37）
3）エリシヤはアラムの軍隊が侵入することを預言しました（Ⅱ列 6:8〜23）
4）エリシヤは飢饉がくることを預言しました（Ⅱ列 8:1〜3）
5）エリシヤはアラムの王ベン・ハダデの死を預言しました（Ⅱ列 8:7〜15）



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

16

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば

4か　オバデヤ時代

Ⅰ列 18:1～15　それから、かなりたって、三年目に、次のような主のことばがエリヤにあった。「アハブに会いに行け。わたしはこの地に雨を降らせよう。」そこで、エリヤはアハブに会いに出かけた。そのころ、サマリヤではききんがひどかった。アハブは王宮をつかさどるオバデヤを呼び寄せた。――オバデヤは非常に主を恐れていた。イゼベルが主の預言者たちを殺したとき、オバデヤは百人の預言者を救い出し、五十人ずつほら穴の中にかくまい、パンと水で彼らを養った――（1～4）

1. 神様は時代ごとにRemnantを起こし立てられました

1）神様は荒野運動の中でRemnantを起こし立てられました（申 6:4～9）
2）神様は見張り人運動の中でRemnantを起こし立てられました（イザ 60:1～22）
3）神様はドタンの町運動の中でRemnantを起こし立てられました（Ⅱ列 6:8～23）

2. 神様が重職者オバデヤに与えられた役割がありました

1）オバデヤはアハブ王の臣下でした
2）オバデヤはエリヤの弟子でした
3）オバデヤは100人の預言者の助けた者、同労者、家主でした

3. オバデヤの献身が３つの運動として現れました

1）カルメル山運動です（Ⅰ列王 18:1～40）
2）ホレブ山運動です（Ⅰ列王 19:1～21）
3）ドタンの町運動です（Ⅱ列王 6:8～23）

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

23

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば

5か 隠された弟子たち

Ⅰ列19:18　しかし、わたしはイスラエルの中に七千人を残しておく。これらの者はみな、バアルにひざをかがめず、バアルに口づけしなかった者である。

1. 神様は隠された弟子たちを大切に用いられました
   1）捨てられた者のように見えますが、神様が送られた残りの者です
   2）隠されていた者であり、神様が備えられた者でした
   3）旅人に見えましたが、神様の計画によって散らされた者（派遣された者）でした

2. エリヤとエリシャ時代の隠された弟子たちがいます
   1）重職者オバデヤです（Ⅰ列18:1～15）
   2）バアルにひざまずかない7千の弟子です（Ⅰ列19:18）
   3）イスラエル王と預言者の弟子たちです（Ⅱ列6:8～23）

3. 小さいが重要な献身をした人たちもいました
   1）ツァレファテのやもめです（Ⅰ列17:8～24）
   2）シュネムの女です（Ⅱ列4:25～36）

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

30

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] ＜子どもの祈りの手帳＞
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば